

# もりもり通信



2022年 春号

八王子市議会議員

森ヨシヒコ 市政報告



森 喜彦（もり よしひこ）1981年4月10日生  
私立海城高等学校、東京都立大学法学部卒業。  
八王子市職員を経て2019年より八王子市議会  
議員（無所属・1期目）。総務企画委員、学園  
都市文化ふれあい財団諮問委員、表彰審査委員  
長を務める。清川町在住。

地域ので八王子を元気に  
つくろう 市民自治の 豊かな社会

## はじめに

2月24日、ロシアはウクライナ政府から迫害されているロシア系住民を保護すること、ウクライナがNATO（北大西洋条約機構）に加盟せず非武装・中立を保つことを主張し、ウクライナ国内に侵攻しました。ウクライナではソビエト連邦からの独立後、経済やエネルギー政策などをめぐり、親欧米派と親ロシア派の争いが続き、武力衝突も起きていました。有史以来、人類は絶え間なく戦争・紛争を繰り返していますが、それらの多くは「自衛」を理由に引き起こされています。ロシアの軍事行動は武力による現状変更という国際規範を無視したものであり、到底許されるものではありませんが、一方で私たちの生活の周りにも、貧困や格差、差別、抑圧といったものは根深く残っており、それらは巡り巡って戦争へ行きつくものであることを顧みなければなりません。ウクライナ危機に乗じて、世界各国で軍拡が進みかねません。日本でも敵基地攻撃能力の保有や核兵器の共有、憲法の見直しなどを進めようとしている動きがありますが、お互いを脅威と見做す限り軍拡競争に終わりはありません。将来世代が平和で安全に暮らしていけるよう、教育や福祉、国際親善に力を入

れるときです。



総がかりユースアクション  
ウクライナ攻撃抗議緊急行動に参加

## 八王子市議会第1回定例会

2022年第1回定例会は2月22日～3月28日に開催されました。3月の議会では、2021年度補正予算と2022年度予算、それらに関連する議案について審議します。年度末の補正は、税収や事業のこれまでの実績を見込んだ結果として予算を増減させる整理、余った予算を市債の返済や次年度以降に向けて積立・繰越させる処理のほか、国や都の補正予算を活用した対応が中心となりますが、近年は国の補正予算規模が増大しており、地方への影響も大きくなっています。この2年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止やワクチン接種体制整備、市民・事業者への支援なども加わり、質量ともに重要な補正予算案の審議がおこなわれています。

国の2021年度補正予算は35兆9895億円と、非常に大きなものとなっています。新型コロナウイルス感染症対策はそのうちの半分程度で、残りは「新しい資本主義」のための投資、防災・減災・国土強靱化の推進などですが、その中には防衛関係費7738億円も含まれており、「緊要になった経費」と評価し難いものも含まれています。年末に補正を行い、1～3月の予算と次年度の予算を一体的に運用する「15ヶ月予算」は当初予算審議を形骸化させ、財政民主主義を弱める恐れがあります。八王子市における補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に19億2437万円、国・都補助の活用で57億1043万円、11月補正後に確定した義務負担や実績に基づくものが13億7907万円、整理補正△39億8487万円、合計50億2900万円です。

国の2022年度予算案は、国税・地方税とも過去最高水準を見込んでいます。営業自粛を余儀なくされた飲食店の苦境や人通りの減少がある一方で、在宅勤務による情報機器の需要拡大をはじめ、行



動変容で新たな需要も生まれており、事業分野によって状況が全く異なっています。個人住民税の納付率も堅調ですが、生活自立支援の相談件数や生活保護申請は増えています。個人や企業の間で感染症の影響を受け続けているものと、回復・改善しているものの二極化が考えられます。八王子市の2022年度一般会計予算案においても、税収はコロナ前に及ばないまでも900億円台を見込み、社会保障費の増大を受けて2083億円台規模の大きな予算となっています。歳出の特徴としては、①八王子の長期計画最終年度、総仕上げに向けた取り組み、②「新しい日常」を実現する取り組み、③地域づくりを踏まえ長期ビジョンにつながる取り組みを3つの柱に据え、市民との協働、DX化、地域づくりやカーボンオフを推進していく内容です。市税収入の増に伴い、臨時財政対策債の減少や、投資的事業の減額により、2022年度末の市債残高は8億2千万円減の1992億3千万円となるほか、基金も積み立てを行っているので、財政の健全性は保たれていると言えます。しかし、コロナ禍により国の財政状況が危ぶまれていること、地方財政計画の経済見通しが楽観的であること、拙速なDX化は負の資産になりうることなどにも注意が必要です。こうした観点から、予算委員会では会派を代表して総括質疑に臨んだほか、総務企画分科会で質疑を行いました。

### 総括質疑より（一部骨子）

#### 公共発注と公正労働

**質問** 公共サービスの品質向上、公正労働基準確立の観点から、建設キャリアアップシステム（CCUS）の導入が必要ではないかと思うが、どのように考えているのか。

**答弁** CCUSは建設技能者にとっては資格や経験を証明でき、これらの情報を発注者も確認できることによって、工品質を担保できるものと認識して

いる。国や他団体の動向を注視するとともに、同システムの市内業者への普及状況も考慮しながら、総合評価方式での活用について研究していく。

#### DX化への対応

**質問** 国は自治体が使用する基礎的なシステムの規格を標準化・共通化することで行政事務の効率化を図っていく予定。これに対応するためには各事業の法律実務・システム運用の両面を理解している職員が不可欠。通常事務と並行しながら、同時期に複数所管がシステムを更新していく大作業が、全国一斉に始まるので、職員育成や外部人材獲得は重要。どのように対応していくのか。

**答弁** システムの標準化は、将来的な人的・財政的な負担の軽減につながるが、一時的に移行作業などが集中する場面も想定される。国の自治体DX推進手順書に基づき、作業負担を平準化させるため、早期から計画的に取り組んでいく。現行事務の業務フローなどを作成し、職員の知識やノウハウを共有化するなど、所管課と連携を図りながら進捗管理を行い、横断的に進める。

### ◎総務企画分科会での質問項目◎



戦争させない・9条壊すな！  
総がかり行動実行委員会  
2・19国会議員会館前行動

平和推進／安全衛生管理／人事管理／都市の魅力の創造・発信／企業版ふるさと納税／文書の保存管理／市民活動推進／生活安全対策



中山地区の里山保全活動

Facebookでの発信も行っています。

Facebookでの発信も行っています。ニュースに対する意見・感想、相談の予約は下記連絡先にて承ります。通信の配布やポスター掲示をお手伝いして下さるボランティアも随時募集しております。



〒193-0804 八王子市清川町19-10  
電話：070-5580-6844  
FAX：042-698-5013  
メール：info@moriyoshihiko.net

